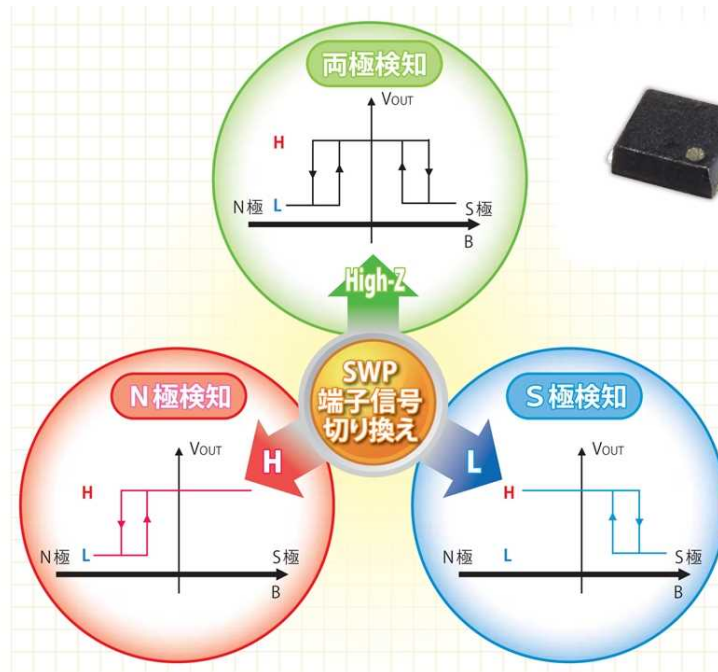


2017年4月17日

磁石の極性判別を実現するホールスイッチ IC を発売 ～ マイコンと組み合わせて、接近した磁石の極性を判別することが可能～



セイコーインスツル株式会社(社長:村上 齊、本社:千葉県千葉市、以下:SII)の子会社で、半導体の製造・販売を行うエスアイアイ・セミコンダクタ株式会社(社長:石合 信正、本社:千葉県千葉市、以下:エスアイアイ・セミコンダクタ)は、ひとつのICで両極検知、N極検知、S極検知に切り換え可能なホールスイッチIC「S-5718 シリーズ」を製品化し、このほど受注を開始しました。マイコンと組み合わせて、接近した磁石の極性を判別することが可能となります。スマートフォンやタブレット端末などの開閉検知において柔軟な設計を可能にします。

新製品「S-5718 シリーズ」は、両極検知/片極検知型のホールスイッチ IC です。ひとつの IC に両極(S極とN極のどちらも)を検知するタイプと、S極のみを検知するタイプ、N極のみを検知するタイプの3種類の検知タイプを内蔵しています。SWP 端子への入力がないとき(High-Z)は両極検知ですが、SWP 端子に High を入力すると N 極検知に、Low を入力すると S 極検知に切り換えることができます。これにより、マイコンと組み合わせることで、接近した磁石の判別が可能になります。携帯機器などにおいて、磁石の極性を検知することで、動作を切り換えたり、付属品の種類を判別することなどが可能になります。

また、業界トップクラスの低電圧動作 1.45V を実現しました。さらに磁石の距離が変化しやすい環境でも安定した出力結果が得られるワイドヒステリシス品も用意しました。パッケージは超小型の SNT-4A(1.6×1.2×0.5mm)です。

【主な特長】

1. 検知極切り換え機能

SWP 端子信号を High-Z、H、L へ切り換えることにより、S-5718 の動作を両極検知、N 極検知、S 極検知の 3 種類の動作へ切り換えることができます。デジタル I/O で SWP 端子を制御することで、磁石の極性を判別することも可能です。

2. 低電圧動作

ホールスイッチ IC として、業界トップクラスの低電圧動作を実現。1.45V という極めて低い電源電圧でも動作が可能です。

3. ヒステリシス幅が選択可能

ワイドヒステリシス品とスタンダードヒステリシス品が選択できます。ワイドヒステリシス品は、ホールスイッチ IC と磁石の距離が変化しやすい環境でも、安定した出力結果が得られます。

【主な仕様】

- ・検知極切り換え機能：両極検知、S 極検知、N 極検知
- ・出力論理：アクティブ “L” アクティブ “H”
- ・出力形態：CMOS 出力
- ・磁気感度：1.8mT、3.0mT、4.5mT
- ・駆動周期：5.7ms、50.5ms、102.1ms
- ・電源電圧範囲：1.45V～3.6V
- ・超小型パッケージ SNT-4A (1.6 × 1.2 × 0.5mm)

【販売目標】 2017 年度、年間 200 万個

【データシート URL】

http://datasheet.sii-ic.com/jp/hall_ics/S5718_J.pdf

【Web サイト】

<http://www.sii-ic.com/jp/semicon/>

以上

【本件に関するお問い合わせ】

〔報道関係〕

セイコーインスツル株式会社
経営管理部 広報課 荒井、森
TEL : 043-211-1185 MAIL : pr@sii.co.jp

〔一般のお客様〕（紙面などの掲載時はこちらでお願いします）

エスアイアイ・セミコンダクタ株式会社
営業本部
TEL : 043-211-1193
URL : <http://www.sii-ic.com>